

令和4年度 学術集会プログラム委員会活動報告

担当理事：家原知子、副担当理事：木下義晶
前担当理事：米田光宏 前副担当理事：盛武 浩
委員長：渡邊健一郎 副委員長：高木正稔
委員：犬飼岳史、副島俊典、高間勇一、宮地 充、義岡孝子、柴 徳生、藤崎弘之、
野上恵嗣

【委員会開催】

2022年2月2日 18時00分～20時05分 web会議
2022年3月29日 18時00分～19時30分 web会議
2022年7月26日 18時30分～20時00分 web会議

【活動内容】

1. 上級演題を中心とした学術集会プログラム内容の作成
2. 演題採否や学術集会開催に関する課題の検討
査読者から指摘があった演題について検討し、対応した。
3. 優秀演題の選定：下記の4演題を推挙した。
4. Pediatric Blood & Cancer 誌抄録：英文校正未の演題について確認した。

第64回日本小児血液・がん学会学術集会優秀演題

演題名：妊婦における職業上の医療用物質の使用と出生児の乳児神経芽腫との関連

筆頭演者：古賀友紀 九州大学医学研究院成長発達医学分野/小児科

演題名：小児急性リンパ性白血病におけるRNAシーケンスを用いたIGHクローナリティ
の解析と臨床的意義の検討

筆頭演者：片井悠太 京都大学小児科

演題名：小児ランゲルハンス細胞組織球症における骨髄血 BRAFV600E 陽性細胞の臨床的
意義

筆頭演者：工藤 耕 弘前大学小児科

演題名：高リスク神経芽腫に対するICE療法を含む寛解導入療法とBU+LPAM大量化学
療法を用いた遅延局所療法(JN-H-15)

筆頭演者：松本公一 国立成育医療研究センター小児がんセンター